

嵯峨宏紀が連続入賞でランキング2位を死守 千代勝正は第3戦でNクラス初優勝、 同じくランキング2位をキープする

アチーブメント全日本F3選手権第3戦&第4戦(第2ラウンド)ツインリンクもてぎ(4.801km)



2010年、ル・ボーセモータースポーツが挑むレースカテゴリーのひとつ、全日本F3選手権の第2ラウンド/第3戦&第4戦が5月22日(土)、23日(日)の両日、栃木県・ツインリンクもてぎで開催された。

擁するドライバーは、引き続きCクラスで「DENSO・ルボーセF308」を駆る嵯峨宏紀。さらにNクラスは、「BPデザインルボーセF305」を駆る千代勝正。

鈴鹿サーキットで行われた開幕ラウンドでは、嵯峨が第2戦で初めてのポールポジションを獲得。決勝レースでは2戦とも2位となり、連続して表彰台に上がることとなった。千代もまた2戦連続で2位入賞。ふたりとも悲願とする初優勝こそ果たせなかったとはいえ、新たなシーズンの始まりに上々のダッシュを決めることとなった。

今回の舞台であるもてぎはチームに隣接する、いわばホームコース。開幕ラウンドの勢いに乗って、さらなる快進撃を遂げることが期待された。

予選

5月22日(土) 天候/コース状況:曇り/ドライ

好結果を残すことができた開幕ラウンドでのベースセットはそのままに、まずは微調整を施して挑んだ金曜日の練習走行は、午前中の第1セッションで嵯峨がまずは2番手に。千代は4番手だったが、シャシーバランスを改めると午後からの第2セッションでは2番手に浮上。路面状態の向上もあって、ふたりともタイムアップを果たした。

土曜日に行われた予選1回目は曇りで気温、路面温度は低下。フォーミュラ・ニッポンなどの走行後だったことから、より路面状態が向上することが予想されていた。千代のマシンは練習走行の最後の印象が良かったことから変更なしで予選に挑んだ一方で、嵯峨のマシンはサスペンションのセットを若干改めることに。これが功を奏し、ふたりとも最初の計測ラップから練習タイムを上回る。

そのままタイムを詰め続けた嵯峨は、クールダウンラップを挟んで1分46秒221にまでタイムアップ。3番手につけることとなった。千代は3周目に47秒839を記した後、やはりクールダウンを行って再度アタックしたものの、リヤの内圧が高まり過ぎていたため、惜しくもタイムアップはならず、クラス3番手からのスタートとなった。

続いて行われた2回目には、ストレートスピードを稼ぐべく嵯峨はリヤのダウンフォースを削り、千代はリヤタイヤの内圧を改めて挑んだ。ところが、わずか10分のインターバルで強い日差しがコースを照らすようになり、路面温度が急上昇。これが嵯峨のセッティング変更に合わせて、ハンドリングの悪化によって46秒804で4番手。引き続き2列目からスタートすることとなった。

逆に千代はフィーリングの向上が確認できたことから、1回目より激しく攻めてセクター1では最速タイムをマークするも、S字でコースアウト。だが、すぐに復帰でき、なおかつその後のリカバリーも完璧に。48秒076をマークしてひとつ順位を上げ、2番手につけることとなった。



決勝レース第3戦

5月22日(土) 天候/コース状況:晴れ/ドライ

決勝レース第3戦は真夏日のような暑さの中で争われた。なんと気温は30度に、そして路面温度は50度に、あとわずか迫るまでとなっていた。スタート前のウォームアップ走行で、フロントのダウンフォースが今ひとつと判断し、嵯峨はウイングを調整して挑むことに。逆に千代は予選で得られた好感感をさらに高めるため、全体的にダウンフォースレベルを下げるよう、セッティングを改めていた。

注目されたスタートは、ふたりとも抜群のダッシュを決める。1コーナーへのアプローチまでに嵯峨はアレクサンドレ・インペラトリー (TODA RACING) を、千代は蒲生尚弥 (TOM'S SPIRIT) を抜いてポジションをひとつ上げる。

嵯峨は続く3コーナーのブレーキングでは、後続車両と走行ラインが絡み合い4番手に順位を落とすも、序盤から47秒台での周回を重ね、一定間隔を保ったまま順位変動はなく、ミスなく14周を走り抜いて4位でフィニッシュすることとなった。

一方、千代は蒲生に続いて3コーナーで小林崇志 (HFDP) を抜いて、トップに浮上。必死に追いつくが、小林を一步も寄せつけず、それぞれが先行するCクラス車両のスリップストリームを巧みに使って、千代はオープニングの1周だけで1秒以上のマージンを得ることに成功。そのまま逃げ続けて、中盤からはペースをコントロールする余裕さえ見せていた。

逃げ切った千代は、これがF3Nクラスでの初優勝。参戦2年目で、チームを移籍してわずか3戦にして、まず望んでいた結果をひとつ、手にすることとなった。



決勝レース第4戦

5月23日(日) 天候/コース状況:曇り/ドライ

灰色の雲に覆われ、いつ雨が降り始めてもおおかしくない天気だったものの、何とか日曜日に行われた決勝レース第4戦は、ドライコンディションの下で争われた。嵯峨のマシンは空力改善を狙って、大幅にダウンフォースが削られることとなったが、第3戦で優勝を飾っている千代のマシンは、セッティングを変更せず、そのままグリッドへ送り出された。

スタートダッシュはふたりとも完璧に決めたが、嵯峨が1コーナーのレイトブレーキングで逆転を狙ったものの、リヤが不安定になりコースアウト。千代もまた加速が許されず。原因は一時的なブレーキシリンダーのトラブルによる。それでも、嵯峨はどうか復帰でき、千代も症状は間もなく解消されるのだが、千代、嵯峨の順で最後尾にまで後退を余儀なくされる。

しかし、そこから素晴らしいリカバリーをふたりとも見せていた。嵯峨は3周目に5番手に浮上。Nクラスの車両を抜き続ける困難も乗り越え、5位でのフィニッシュを遂げることとなった。

そして、千代も3周目にはクラス7番手に上がると、続いて6周目に黒田吉隆 (KCMG) を、10周目には銘苺莖 (AIM SPORTS) をパス。その時点で6秒差のあったギャリー・トンプソンにも迫ったものの、最後はあと1秒及ばず。だが、もう1周あつたら確実に4位にまで上がっていたと、思わせるだけの勢いを見せた。

この第2ラウンドの結果により、嵯峨、千代ともクラスのランキング2位をキープ。富士スピードウェイで行われる第3ラウンドは、チャンピオン争いをする上で間違いなくシーズン最初の天王山となることだろう。

Driver
嵯峨宏紀
Koki SAGA
COMMENT

前回の鈴鹿とは対照的な週末になってしまいました。2戦とも良い流れが作れずリスクを冒さざるを得ませんでした。今後は苦しい状況下でも好転させることができるような牽引力のあるドライバーに成長していきたいと思っていますし、また今回のレースをワーストの結果として次のレース以降に今回の失敗を繰り返さないようにしていきたいです。

Driver
千代勝正
Katsumasa CHIYO
COMMENT

第3戦でF3初優勝！最高の気分です。ファステストラップも取れたし、良いマシンに仕上げてくれたチームの皆さんに感謝しています。第4戦では予想外のトラブルで追いつけるレースになってしまいましたが、ラップタイムは良かったです。マシンの仕上がりは最高です。今季こうして走るチャンスを下さった皆さんに早い段階で優勝をプレゼントできて、本当に良かったです。優勝はひとつのステップとしてチャンピオンという最終目標に向け、さらに努力を重ねていきたいと思っています。

チーム監督
坪松唯夫
Tadao TSUBOMATSU
COMMENT

ここもてぎではブレーキパフォーマンスが重要視されるため、鈴鹿からさらにブレーキまわりを中心とした改良を進めた。嵯峨は金曜日の練習走行では感触も良く、自信を持って予選に臨めたが残念ながら2戦とも追いつけるレース展開になってしまった。次戦、富士では巻き返しを図りたい。千代は練習走行から気迫ある走りを見せてくれ、コメントからもマシンのパフォーマンスを引き上げた。レースでも落ち着いた走りを見せてくれた。所属するドライバーの初優勝は最大の喜びだ。

第3戦 決勝

Cクラス	順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
	1	1	国本 雄資	PETRONAS TEAM TOM'S	1
	2	12	関口 雄飛	ThreeBond Racing	4
	3	2	Alexandre Inperatori	TODA RACING	2
	4	62	嵯峨 宏紀	DENSO Team Le Beausset	3
	5	36	Rafael Suzuki	PETRONAS TEAM TOM'S	5

Nクラス	順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
	1	63	千代 勝正	DENSO Team Le Beausset	3
	2	8	小林 崇志	HFDP RACING	2
	3	7	三浦 和樹	HFDP RACING	4
	4	20	Gary Thompson	ACHIEVEMENT by KCMG	6
	5	22	佐々木 大樹	TEAM NOVA	7

第4戦 決勝

Cクラス	順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
	1	1	国本 雄資	PETRONAS TEAM TOM'S	1
	2	2	Alexandre Inperatori	TODA RACING	2
	3	12	関口 雄飛	ThreeBond Racing	5
	4	36	Rafael Suzuki	PETRONAS TEAM TOM'S	3
	5	62	嵯峨 宏紀	DENSO Team Le Beausset	4

Nクラス	順位	車番	ドライバー	チーム	予選順位
	1	8	小林 崇志	HFDP RACING	1
	2	37	蒲生 尚弥	TOM'S SPIRIT	5
	3	23	佐藤 公哉	TEAM NOVA	3
	4	20	Gary Thompson	ACHIEVEMENT by KCMG	7
	5	63	千代 勝正	DENSO Team Le Beausset	2

シリーズランキング

Cクラス	順位	車番	ドライバー	ポイント
	1	1	国本 雄資	47
	2	62	嵯峨 宏紀	20
	3	2	Alexandre Inperatori	18
	4	12	関口 雄飛	17
	5	36	Rafael Suzuki	13

Nクラス	順位	車番	ドライバー	ポイント
	1	8	小林 崇志	43
	2	63	千代 勝正	27
	3	37	蒲生 尚弥	14
	4	7	三浦 和樹	10
	5	23	佐藤 公哉	9

